

会計名			日高小学校大規模改造事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	教育総務課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	2	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	老朽化した校舎の機能の回復及び教育環境の変化に適合させるために大規模な改修を行い、児童の教育環境の改善を図る。	主たる内容	昭和55年に建設された南舎の内外装、設備を一斉に改修する大規模改造工事を行う。					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者	日高小学校の児童及び教員		事業期間	平成27年度～平成28年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
						南舎の大規模改造工事を行った。北舎の大規模改造工事の変更設計を行った。		北舎の大規模改造工事を行う。	
成果		設備等に不具合を起こしていた南舎の機能面を回復することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		改修工事進捗率（％）			—	—	60.0	100.0	—
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費①		0	0	306,103	359,034	合計	306,102,593円	
	財源	特定財源	0	0	292,207	34,018	役務費	300,000円	
		一般財源	0	0	13,896	325,016	委託料	491,400円	
	職員人件費②		0	0	1,410	1,825	工事請負費	305,311,193円	
	総事業費（①+②）		0	0	307,513	360,859			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0		学校施設環境改善交付金（国）					
29年度以降の事業費見込		0		公共施設維持保全基金繰入金 校舎改修事業債					

会計名			日高小学校大規模改造事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	教育総務課
款	項	目		担当係	施設係
10	2	1			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	築後30年以上が経過し、各所に経年劣化が見られ児童の生活環境に影響が出ている。大規模な改修を行うことにより児童が落ち着いて学習・生活ができる場を整備することが必要となってくる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	改築までの維持保全という点で、必要以上の工事を行わなかったが、改築までの間、校舎の機能を十分維持できるだけの効果は期待できる。また、複数の工事を集中して行うことにより、機能低下に対する即応性に欠けるが、コストの削減を図ることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	施設の改修であるため、所有者である市が責任を持って実施するべきである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	遅滞なく日高小学校の南舎大規模改造工事を進めることができた。大規模改造は1棟あたりの費用がかかる反面、老朽化対策としての効果が非常に高い。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	平成27年度で南舎の改修が完了するとともに、北舎の設計を見直した。平成28年度に北校舎の改修を行う。				

会計名 一般会計			富士松中学校大規模改造事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	3	1					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	老朽化した校舎の機能の回復及び教育環境の変化に適合させるために大規模な改修を行い、生徒の教育環境の改善を図る。			主たる内容		昭和45年に建設された中舎の設備を一斉に改修する大規模改造工事を行う。		
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	富士松中学校の生徒及び教員			事業期間	平成26年度～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
				中舎の大規模改造の実施設計を行った。		中舎の大規模改造工事（設備改修）を行った。		中舎の大規模改造工事（内外装）を行うとともに、南舎の大規模改造工事の設計を行う。	
成果		設備等に不具合を起こしていた中舎の機能面を回復することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		南舎設計進捗率（％）			—	—	—	100.0	—
活動指標		中舎改修工事進捗率（％）			—	—	60.0	100.0	—
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費①		0	7,495	312,209	196,344	合計	312,208,960円	
	財源	特定財源	0	0	260,100	0	役務費	400,000円	
		一般財源	0	7,495	52,109	196,344	工事請負費	311,808,960円	
	職員人件費②		0	774	1,410	1,673			
	総事業費（①+②）		0	8,269	313,619	198,017			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0		公共施設維持保全基金繰入金 校舎改修事業債					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			富士松中学校大規模改造事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	教育総務課
款	項	目		担当係	施設係
10	3	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	築後40年以上が経過し、各所に経年劣化が見られ生徒の生活環境に影響が出ている。大規模な改修を行うことにより生徒が落ち着いて学習・生活ができる場を整備することが必要となってくる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	改築までの維持保全という点で、必要以上の工事を行わなかったが、改築までの間、校舎の機能を十分維持できるだけの効果は期待できる。また、複数の工事を集中して行うことにより、機能低下に対する即応性に欠けるが、コストの削減を図ることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	施設の改修であるため、所有者である市が責任を持って実施するべきである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	遅滞なく富士松中学校の中舎大規模改造工事（設備改修）を進めることができた。引き続き、中舎の内外装工事を進める。大規模改造は1棟あたりの費用がかかる反面、老朽化対策としての効果が非常に高い。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
平成27年度で中舎の設備改修が完了し、引き続き平成28年度に中舎の内外装改修を行う。さらに南舎の大規模改造工事の設計を行う。					

会計名 一般会計			依佐美中学校大規模改造事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	3	1					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	老朽化した校舎の機能の回復及び教育環境の変化に適合させるために大規模な改修を行い、生徒の教育環境の改善を図る。	主たる内容	昭和37年に建設された校舎の内外装、設備を一斉に改修する大規模改造を行う。					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	依佐美中学校の生徒及び教員	事業期間	平成22年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
				北舎の大規模改造工事を行った。		中舎の大規模改造工事における変更設計を行った。		中舎の大規模改造工事（設備改修）を行う。 （平成29年度内部改修工事を予定）	
成果		大規模改造工事に向けた変更設計を進めることができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		中舎設計進捗率（％）				100.0			
活動指標		中舎改修工事進捗率（％）					60.0	100.0	
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費①		0	154,849	486	533,940	合計	486,000円	
	財源	特定財源	0	97,251	0	76,529	委託料	486,000円	
		一般財源	0	57,598	486	457,411			
	職員人件費②		0	1,267	862	1,597			
	総事業費（①+②）		0	156,116	1,348	535,537			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			依佐美中学校大規模改造事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	教育総務課
款	項	目		担当係	施設係
10	3	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	築後30年以上が経過し、各所に経年劣化が見られ生徒の生活環境に影響が出ている。大規模な改修を行うことにより生徒が落ち着いて学習・生活ができる場を整備することが必要となってくる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	改築までの維持保全という点で、必要以上の工事を行わないが、改築までの間、校舎の機能を十分維持できるだけの効果は期待できる。また、複数の工事を集中して行うことにより、機能低下に対する即応性に欠けるが、コストの削減が図れる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	施設の改修であるため、所有者である市が責任を持って実施するべきである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	遅滞なく依佐美中学校の中舎の大規模改造工事に向けた設計を終えることができた。大規模改造は1棟あたりの費用がかかる反面、老朽化対策としての効果は非常に高い。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	平成28年度及び平成29年度に中校舎の改修を行う。				

会計名			小垣江東小学校大規模改造事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	教育総務課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	2	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	老朽化した校舎の機能の回復及び教育環境の変化に適合させるために大規模な改修を行い、児童の教育環境の改善を図る。		主たる内容	昭和58年に建設された北舎・南舎の内外装、設備を一齐に改修するための設計を、敷地内に併設する特別支援学校の整備に合わせて行う。				
	関連計画								
	位置づけ	根拠法令							
	対象者	小垣江東小学校の児童及び教員		事業期間	平成27年度～平成29年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		_____		_____		特別支援学校の機能変更に合わせた北舎・南舎の大規模改造工事の実施設計を行った。		特別支援学校の機能変更に合わせた北舎・南舎の大規模改造工事を行う。	
成果		特別支援教育連携協議会小委員会を開催し、特別支援教育に関わる者から意見を集約した。特別支援学校の機能変更に合わせた北舎・南舎の大規模改造工事の実施設計をとりまとめた。							
課題		工事が長期間に渡り、学校全体で施工されるため、子どもたちの教育環境と安全性の確保に万全を期す必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標	設計進捗率（％）		—	—	100.0	—	—		
活動指標	改修工事進捗率（％）		—	—	—	34.0	100.0		
他市との比較検証	市立の特別支援学校を開設している、瀬戸市や豊橋市の例を参考とした。								
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費①		0	0	26,155	173,500	合計	26,154,651円	
	財源	特定財源	0	0	15,100	0	委託料	26,154,651円	
		一般財源	0	0	11,055	173,500			
	職員人件費②		0	0	0	0			
	総事業費（①+②）		0	0	26,155	173,500			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0		公共施設維持保全基金繰入金					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			小垣江東小学校大規模改造事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	教育総務課
款	項	目		担当係	施設係
10	2	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	築後30年以上が経過し、各所に経年劣化が見られ児童の生活環境に影響が出ている。大規模な改修を行うことにより児童が落ち着いて学習・生活ができる場を整備することが必要となっている。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	改築までの維持保全という点で、必要以上の工事を行わなかったが、改築までの間、校舎の機能を十分維持できるだけの効果は期待できる。また、複数の工事を集中して行うことにより、機能低下に対する即応性に欠けるが、コストの削減を図ることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	施設の改修であるため、所有者である市が責任を持って実施するべきである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	遅滞なく小垣江東小学校の北舎と南舎の大規模改造工事の設計を特別支援学校の機能変更に合わせた形で進めることができた。大規模改造工事は1棟あたりの費用がかかる反面、老朽化対策としての効果が非常に高い。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
策定された実施設計に基づき、平成28年度と平成29年度に大規模改造工事を行う。					

会計名 一般会計			ICT教育事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	教育総務課		
10	2	1					担当係	総務係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	各教科の授業の中で電子黒板を利用することにより、「わかる授業」や「魅力のある授業」の実現に役立てる。			主たる内容	電子黒板を市内小学校へ1台ずつ導入し、授業での活用実践を重ねる。				
	位置づけ	関連計画								
			根拠法令							
		対象者	市内小学生及び教員			事業期間	平成27年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
						電子黒板を市内小学校へ1台ずつ新規導入した。				
成果		電子黒板の導入により、デジタル教科書の更なる有効活用が図れた。								
課題		電子黒板の増設の要望が多く、今後検討が必要。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		電子黒板設置台数（台）			—	—	15.0	—	—	
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費①		0	0	4,484	4,161	合計	4,484,160円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	2,340,900円		
		一般財源	0	0	4,484	4,161	使用料及び賃借料	2,143,260円		
	職員人件費②		0	0	627	760				
	総事業費（①+②）		0	0	5,111	4,921				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
		27年度までの累積事業費		0						
29年度以降の事業費見込		0								

会計名			ICT教育事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	教育総務課
款	項	目		担当係	総務係
10	2	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	国の教育振興基本計画により教材等の教育環境の充実として、ICTを活用した授業の取り組みが必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		高い	授業中の教員の板書時間の削減のほか、情報の共有や、児童・生徒の情報活用能力の向上につながる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		普通	情報教育整備の充実に必要な事業であり、市が主体となって実施すべきである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		高い	教育現場から強い要望がある中で、ICT教育の充実施策として高い貢献度に繋がると思われる。
	今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
電子黒板の増設とともに、この電子黒板を更に有効活用するため、タブレット端末の導入も検討する必要がある。					

会計名			特別支援学校整備事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	教育総務課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	1	3								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	障害のある児童生徒に対して、普通学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上及び生活上の困難を克服し、自立を図るために必要な知能技能を授ける機会の充実を図る。			主たる内容	小垣江東小学校の敷地内に新たに校舎を増築し、特別支援学校として整備する。				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	特別支援学校施設整備指針							
		対象者	衣浦定住自立圏域の肢体不自由児・者		事業期間	平成26年度～平成27年度				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		—		（仮称）刈谷市立特別支援学校等整備検討委員会を開催し、特別支援教育に関わる者から意見を集約した上で、基本計画・基本設計を行った。		特別支援教育連携協議会小委員会を開催し、特別支援教育に関わる者から意見を集約した上で、実施設計を行った。		建設工事を行う。		
成果		特別支援教育連携協議会小委員会を開催し、特別支援教育に関わる者から意見を集約した。特別支援学校の実施設計をとりまとめた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		設計進捗率（％）			—	26.0	100.0	—	—	
活動指標		建設工事進捗率（％）			—	—	—	70.0	—	
他市との比較検証		市立の特別支援学校を開設している、瀬戸市や豊橋市の例を参考とした。								
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費①		0	13,839	40,247	50,000	合計	40,247,419円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	23,240円		
		一般財源	0	13,839	40,247	50,000	委託料	40,224,179円		
	職員人件費②		0	1,971	1,959	0				
	総事業費（①+②）		0	15,810	42,206	50,000				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
		27年度までの累積事業費		0						
29年度以降の事業費見込		0								

会計名			特別支援学校整備事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	教育総務課
款	項	目		担当係	施設係
10	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	現在、半田市の県立ひいらぎ特別支援学校等他自治体の特別支援学校へ長時間かけて通っている児童生徒の負担軽減を図る必要がある。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	高い	既存の小垣江東小学校と併設することで、効率的な施設利用が可能となる。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	普通	本来の設置主体は県であるが、市立での事例も増えており、衣浦定住自立圏域の中で本市が主体となり特別支援学校を設置することによる有益性は高いといえる。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	高い	強い市民要望がある中で、特別支援学校の整備は、施策として高い貢献度に繋がると思われる。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
策定された実施設計に基づき、建設工事を行う。					

会計名 一般会計			双葉小学校大規模改造事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	2	1					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	老朽化した校舎の機能の回復及び教育環境の変化に適合させるために大規模な改修を行い、児童の教育環境の改善を図る。		主たる内容	昭和40年に建設された南舎の内外装、設備を一齐に改修するための設計を行う。 ※平成30年度施工予定。				
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	双葉小学校の児童及び教員		事業期間	平成26年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
_____		_____		南舎の大規模改造工事の設計を行った。		_____			
成果		双葉小学校南舎の大規模改造工事に向けた設計をとりまとめた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		設計進捗率（％）			—	—	100.0	—	—
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費①		0	0	9,711	0	合計	9,711,360円	
	財源	特定財源	0	0	6,000	0	委託料	9,711,360円	
		一般財源	0	0	3,711	0			
	職員人件費②		0	0	1,018	0			
	総事業費（①+②）		0	0	10,729	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0		公共施設維持保全基金繰入金					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			双葉小学校大規模改造事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	教育総務課
款	項	目		担当係	施設係
10	2	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	築後50年が経過し、各所に経年劣化が見られ児童の生活環境に影響が出ている。大規模な改修を行うことにより児童が落ち着いて学習・生活ができる場を整備することが必要となってくる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	改築までの維持保全という点で、必要以上の工事を行わなかったが、改築までの間、校舎の機能を十分維持できるだけの効果は期待できる。また、複数の工事を集中して行うことにより、機能低下に対する即応性に欠けるが、コストの削減を図ることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	施設の改修であるため、所有者である市が責任を持って実施するべきである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	遅滞なく双葉小学校の南舎大規模改造工事に向けた設計を進めることができた。大規模改造は1棟あたりの費用がかかる反面、老朽化対策としての効果が非常に高い。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
平成27年度で南舎の設計が完了し、平成30年度に改修工事を行う。					

会計名 一般会計			刈谷東中学校改築事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	3	1					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	老朽化による建物の著しい機能低下が進んでいる中舎・南舎の全面改築工事を行い、生徒の教育環境の改善を図る。		主たる内容	昭和29年に建設された中舎及び昭和31年に建設された南舎は、いずれも築後60年を経過しており、建て替えのための設計を行う。				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	刈谷東中学校の生徒及び教員		事業期間	平成27年度～平成29年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
						中舎・南舎の改築に向けた設計を行った。		中舎・南舎の改築工事を行う。	
成果		刈谷東中学校中舎・南舎の改築工事に向けた、設計をとりまとめた。							
課題		工事が長期間に渡り、学校全体で施工されるため、子どもたちの教育環境と安全性の確保に万全を期す必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		設計進捗率（％）			—	—	100.0	—	—
活動指標		改築工事進捗率（％）			—	—	—	23.0	100.0
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費①		0	0	33,961	1,220,000	合計	33,960,600円	
	財源	特定財源	0	0	30,000	598,000	委託料	33,960,600円	
		一般財源	0	0	3,961	622,000			
	職員人件費②		0	0	1,410	1,749			
	総事業費（①+②）		0	0	35,371	1,221,749			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
		27年度までの累積事業費		0		公共施設維持保全基金繰入金			
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			刈谷東中学校改築事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	教育総務課
款	項	目		担当係	施設係
10	3	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	築後最大60年が経過し、各所に経年劣化が見られ生徒の生活環境に影響が出ている。改築を行うことにより生徒が落ち着いて学習・生活ができる場を整備することが必要となってくる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	改築工事としてはあるが、新校舎を先に建築した後に旧校舎を取壊す施工法により、プレハブ校舎を建てることなく工事を進めることができるためコストの削減を図ることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	施設の改築であるため、所有者である市が責任を持って実施するべきである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	遅滞なく刈谷東中学校の中舎南舎改築工事の設計を進めることができた。災害時における安全な避難場所の確保としての効果も認められる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
平成28年度から平成29年度にかけて新校舎を建設し、その後平成29年度から平成30年度にかけて旧校舎を解体するとともに、外構工事を行う。					

会計名 一般会計			第一学校給食センター建設事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	教育総務課		
10	6	4					担当係	施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校給食の充実							
	目的	第一学校給食センターを建て替え、給食に求められる安全な調理環境を維持・向上させるとともに、特別支援学校に通う子どもたちの状況に合わせた給食を調理する体制を整備する。			主たる内容	昭和56年に建設し、老朽化した第一学校給食センターを小垣江東小学校の敷地内に移転新築をする。				
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者	市内小中学生及び教員			事業期間	平成26年度～平成29年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		第一学校給食センターの基本設計を行った。		第一学校給食センターの実施設計を行った。		第一学校給食センターの建設工事を行う。				
成果		小垣江東小学校の敷地内に併設する特別支援学校の計画と調整しながら、移転新築する第一給食センターの実施設計をとりまとめることができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		設計進捗率（％）			—	26.0	100.0	—	—	
活動指標		建設工事進捗率（％）			—	—	—	16.0	100.0	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費①		0	12,167	40,590	1,075,131	合計	40,589,770円		
	財源	特定財源	0	0	20,000	1,011,500	委託料	40,589,770円		
		一般財源	0	12,167	20,590	63,631				
	職員人件費②		0	1,971	1,489	2,966				
	総事業費（①+②）		0	14,138	42,079	1,078,097				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0		公共施設維持保全基金繰入金						
29年度以降の事業費見込		0								

会計名			第一学校給食センター建設事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	教育総務課
款	項	目		担当係	施設係
10	6	4			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	昭和56年に建設し、老朽化した第一学校給食センター施設の移転新築による安定的な調理体制を確保するために必要不可欠であり、有効な手段である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	アレルギー食や隣接して整備予定の特別支援学校への特別食への提供がスムーズにできるよう、また、小垣江東小学校の敷地内に移設することにより、南部地域への効率的な配送を可能にするものである。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	学校給食法の中で、学校給食の設置者は学校給食実施基準に照らして適切な学校給食の実施に努めることが規定されており、市が主体となって実施すべき事業であるといえる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	学校給食の普及充実に加えて学校における食育の推進が重要であり、学校給食の教育的な意義があるだけでなく、市民サービスとしての効果も大きい。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
学校給食施設は、建物は30年以上、設備は10～15年程度のスパンで使い続けるため、ライフサイクルコストに配慮した施設計画をしていくことが重要である。その上で、安全な給食を提供するとともに、アレルギー食の充実など時代の要請に合った施設運営を図る必要がある。					

会計名		委員研修事業				担当部	教育部		
一般会計						担当課	教育総務課		
款	項					目	担当係	総務係	
10	1	1							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	教育内容の充実						
	目的	教育行政・教育問題についての研修を通し教育委員の資質向上を図ることで、教育委員会運営の活性化を図る。			主たる内容	○教育委員会委員研修旅費等			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	教育委員及び教育長		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		委員研修を行った。 (1/14 瀬戸市立瀬戸養護学校視察)		委員研修未実施		委員研修を行った。 (11/25 東吉野村視察)		委員研修を行う。	
成果		教育行政・教育問題についての研修を通し、教育委員の資質向上を図った。							
課題		教育委員視察は有意義な事業として教育委員の資質向上、教育委員会の活性化に役立っているが、限定旅費となっているので金額により視察先が限定され、視察の計画を立てるにあたり苦慮している。例えば、数年に1回というような頻度であっても、視察先旅費相当分の予算が確保できれば、より有効的な委員研修の実施が可能となる。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)	27年度 事業費内訳	
	事業費 ①		2	10	11	327	合計	10,800 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	旅費	10,800 円	
		一般財源	2	10	11	327			
	職員人件費 ②		771	774	783	837			
	総事業費 (①+②)		773	784	794	1,164			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
		27年度までの累積事業費		0					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			図書充実事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	教育総務課		
款	項	目					担当係	総務係		
10	2	1						施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	教育内容の充実							
	目的	学校図書を「学校図書館図書標準」の水準に保ち、図書を継続的に更新することにより児童の読書指導に役立てる。また、図書システムの運用・管理を行い、児童の読書指導に役立てる。				主たる内容	○図書の購入費 ○図書システムの保守管理費 ○図書システム機器の賃借料 ○書架等備品の購入費			
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者	市内小学生及び教員				事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
図書の購入、入れ替えを行った。(8,332冊)		図書の購入、入れ替えを継続的に行った。(7,790冊) また、図書システム(パソコン管理運用事業から移行)の管理を行った。		図書の購入、入れ替えを継続的に行った。(6,390冊) また、図書システムの管理を行った。		図書の購入、入れ替えを継続的に行う。 また、図書システムの管理を行う。				
成果		学校図書館図書標準の水準を保っている。								
課題		「学校図書館図書標準」は全15校において基準をクリアしているが、継続的に図書の更新を行っていく必要があるため、現状どおりの事業規模が必要と考える。								
指標名称(単位)				実績値			目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業 コスト		単位：千円		25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)	27年度事業費内訳		
	事業費①		11,872	16,544	16,684	14,528	合計	16,684,095円		
	財源	特定財源	2,000	2,000	2,000	0	需用費	10,540,839円		
		一般財源	9,872	14,544	14,684	14,528	委託料	2,408,400円		
	職員人件費②		421	1,126	940	1,521	使用料及び賃借料	2,748,060円		
	総事業費(①+②)		12,293	17,670	17,624	16,049	備品購入費	986,796円		
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0		学校管理事業費寄附金						
29年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			一般教材整備事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	2	2					担当係	総務係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系		分野	教育文化					
			基本施策	学校教育					
			施策の内容	教育内容の充実					
	目的		保護者負担経費の軽減と教育活動の充実を図る。			主たる内容	○児童用一般教材の購入 ○教師指導用教材の購入 ○特別支援学級の教材備品等の購入 ○全小学校の教材用備品等の更新及び新規購入 ○学校新聞等の印刷製本費		
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者		市内小学生及び教員		事業期間	～			
	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
児童用一般教材を購入した。		児童用一般教材を購入した。		児童用一般教材を購入した。		児童用一般教材を購入する。			
成果		児童用一般教材の購入を円滑に進めることができた。							
課題		学校での印刷・資料作成機会の増により印刷製本費と消耗品費の児童数に応じた振分について検討を要する。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度 （決算）	26年度 （決算）	27年度 （決算）	28年度 （予算）	27年度 事業費内訳	
	事業費 ①		59,200	59,555	59,722	56,797	合計	59,721,822 円	
	財源	特定財源	1,043	0	0	0	需用費	46,462,328 円	
		一般財源	58,157	59,555	59,722	56,797	備品購入費	13,259,494 円	
	職員人件費 ②		1,122	1,056	1,567	1,293			
	総事業費（①+②）		60,322	60,611	61,289	58,090			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
		27年度までの累積事業費		0					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			図書充実事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	教育総務課	
款	項	目					担当係	総務係	
10	3	1						施設係	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	教育内容の充実						
	目的	学校図書を「学校図書館図書標準」の水準に保ち、図書を継続的に更新することにより生徒の読書指導に役立てる。			主たる内容	○図書の購入費 ○書架等備品の購入費			
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	市内中学生及び教員			事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
図書の購入、入れ替えを行った。(5,498冊)		図書の購入、入れ替えを行った。(4,997冊)		図書の購入、入れ替えを行った。(4,780冊)		図書の購入、入れ替えを継続的に行う。			
成果		学校図書館図書標準の水準を保っている。							
課題		「学校図書館図書標準」は全6校において基準をクリアしているが、継続的に図書の更新を行っていく必要があるため、現状どおりの事業規模が必要と考える。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)	27年度 事業費内訳	
	事業費 ①		9,741	9,998	9,585	10,000	合計	9,585,059 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	9,165,911 円	
		一般財源	9,741	9,998	9,585	10,000	備品購入費	419,148 円	
	職員人件費 ②		421	704	783	760			
	総事業費 (①+②)		10,162	10,702	10,368	10,760			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
		27年度までの累積事業費		0					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			一般教材整備事業				担当部	教育部			
款	項	目					担当課	教育総務課			
10	3	2					担当係	総務係			
			分野	教育文化							
			基本施策	学校教育							
			施策の内容	教育内容の充実							
PLAN 事業概要 計画	A 事業概要 計画	V	目的	保護者負担経費の軽減と教育活動の充実を図る。		主たる内容	○生徒用一般教材の購入 ○教師指導用教材の購入 ○特別支援学級の教材備品等の購入 ○全中学校の教材用備品等の更新及び新規購入 ○学校新聞等の印刷製本費				
			位置づけ	関連計画							
				根拠法令							
				対象者	市内中学生及び教員		事業期間	～			
				実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
B 事業実績	D 実績	O 実施	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
			生徒用一般教材を購入した。		生徒用一般教材を購入した。		生徒用一般教材を購入した。		生徒用一般教材を購入する。		
			成果	生徒用一般教材の購入を円滑に進めることができた。							
			課題	学校での印刷・資料作成機会の増により印刷製本費と消耗品費の生徒数に応じた振分について検討を要する。							
			指標名称（単位）			実績値			目標値		
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度				
指標											
指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト	V	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
		事業費 ①		58,860	59,184	59,510	55,689	合計	59,510,452 円		
		財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	44,437,861 円		
			一般財源	58,860	59,184	59,510	55,689	備品購入費	15,072,591 円		
		職員人件費 ②		1,262	1,056	1,332	1,901				
		総事業費（①+②）		60,122	60,240	60,842	57,590				
		建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費			0								
29年度以降の事業費見込			0								

会計名			小学校管理事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	教育総務課	
款	項	目					担当係	総務係	
10	2	1						施設係	
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	小学校の円滑な管理運営を行う。		主たる内容	○光熱水費（プロパン・電気・水道・ガス） ○校舎等修繕費 ○電話料 ○点検手数料（空調・プール機器等） ○火災保険料 ○委託料（清掃・保守管理・樹木管理等） ○下水道使用料 ○メール配信ネットワーク使用料 ○土地借上料				
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令						
		対象者	市内小学生及び教員	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費 高所窓ガラス清掃委託、理科薬品処理委託は隔年実施		光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費		光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費 高所窓ガラス清掃委託、理科薬品処理委託は隔年実施		光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費	
成果		光熱水費の節約に努めることができた。							
課題		光熱水費はその年の気温などに左右されやすく経費の増減が流動的で予想が難しい。また、樹木の剪定や高所窓ガラス清掃などは、要望が多く経費の増額が望まれる。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		149,186	167,239	158,443	174,266	合計	158,443,063 円	
	財源	特定財源	703	1,230	1,338	1,201	需用費	94,302,096 円	
		一般財源	148,483	166,009	157,105	173,065	役務費	10,187,355 円	
	職員人件費 ②		3,226	3,097	2,507	3,498	委託料	43,796,004 円	
	総事業費（①+②）		152,412	170,336	160,950	177,764	使用料及び賃借料	10,157,608 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
		27年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料 資源売却収入			
29年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			校舎等補修事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	2	1					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	小学校の校舎、体育館等の小規模な補修を行い、学校施設の保全を図る。			主たる内容	小学校の校舎・体育館等の破損や痛みが激しい箇所の補修を行う。			
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	市内小学生及び教員			事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
保守点検において危険と判断された遊具の修繕を行った。【全小学校】 不調のプールろ過装置修繕を行った。【亀城・衣浦・住吉・富士松東小学校】		保守点検において危険と判断された遊具の修繕を行った。【全小学校】 プール防水膜の経年劣化によるめくれ等の修繕を行った。【小垣江・双葉小学校】		プールの給水バルブ修繕を行った。【東刈谷小学校】 プールろ過装置の修繕を行った。【東刈谷・衣浦・小垣江小学校】 暗幕等取替修繕を行った。【平成・かりがね・亀城・衣浦小学校】		プールろ過装置・防水膜等の修繕を行う。【住吉・富士松南・朝日・日高・平成・東刈谷小学校】 防球ネット・フェンスの修繕を行う。【亀城・日高・富士松南小学校】			
成果		修繕要望を精査し必要な箇所のみ修繕を行った。							
課題		危険箇所などの補修を目的としているが、緊急、緊急でない補修をしっかりと見極める必要がある。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		11,974	6,307	7,946	8,000	合計	7,946,208 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	7,946,208 円	
		一般財源	11,974	6,307	7,946	8,000			
	職員人件費 ②		421	422	862	684			
	総事業費（①+②）		12,395	6,729	8,808	8,684			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名		屋外施設整備事業				担当部	教育部		
一般会計						担当課	教育総務課		
款	項					目	担当係	施設係	
10	2	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	小学校のグラウンド、駐車場などの屋外施設の改修を行い、教育環境の保全を図る。	主たる内容	小学校のグラウンド、駐車場等のうち老朽化により破損や痛みが激しい箇所の更新を行う。					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市内小学生及び教員	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		通路改修を行った。【富士松南・富士松北小学校】 防球ネットを設置した。【富士松北小学校】 石灰倉庫の建替えをした。【亀城小学校】		老朽化した「亀城の森」に設置されている柵の取替えを行った。【亀城小学校】 西門隣に、児童クラブへ送迎する車との交錯を避けるため歩行者専用門を新設した。【富士松南小学校】 校地廻りのフェンスを改修した。【衣浦小学校】		グラウンド排水設備改修、体育館横側溝改修を行った。【かりがね小学校】 防球ネットの延伸改修を行った。【東刈谷・小高原小学校】 砂場改修を行った。【日高小学校】		校内側溝改修を行う。【かりがね小学校】 外灯の設置を行う。【富士松北小学校】 砂場改修を行う。【朝日小学校】 倉庫の更新を行う。【日高・平成・富士松北・富士松東・双葉・東刈谷】	
成果		学校からの要望や現地調査を重ね危険箇所について整備を進めている。							
課題		屋外施設については、大規模改造事業のような全体改修を行う計画をしていないため、必要になった箇所を個々に対応している。そのため、各学校ごとの現状をしっかりと把握することが重要となる。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業 コスト		単位：千円	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①	17,769	39,231	7,727	10,900	合計	7,727,400 円		
	財源	特定財源	300	0	0	0	工事請負費	7,727,400 円	
		一般財源	17,469	39,231	7,727	10,900			
	職員人件費 ②	421	704	783	684				
	総事業費（①+②）	18,190	39,935	8,510	11,584				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名		緑化推進事業				担当部	教育部		
一般会計						担当課	教育総務課		
款	項					目	担当係	施設係	
10	2					1			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	小学校における苗木等の植樹や補植といった緑化推進を図り、「自然への慈しみ」がもてるような教育環境をつくる。			主たる内容	小学校へ苗木等の購入を行う。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市内小学生及び教員		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		苗木等の購入、植栽を行った。		苗木等の購入、植栽を行った。		苗木等の購入、植栽を行った。		苗木等の購入、植栽を行う。	
成果		様々な木々等を植えることができた。							
課題		植樹後の剪定等の樹木管理を考慮した苗木等の購入を行う。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		243	250	246	250	合計	246,240 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	246,240 円	
		一般財源	243	250	246	250			
	職員人件費 ②		491	493	470	228			
	総事業費（①+②）		734	743	716	478			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			設備等改修事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	教育総務課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	2	1								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	小学校の電気や管などの設備の改修を行い、教育環境の保全を図る。		主たる内容	老朽化により破損や痛みが激しい小学校の設備の改修を行う。					
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	市内小学生及び教員		事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		エレベーターの取替を行った。【富士松南・小垣江・東刈谷小学校】		老朽化した非常放送設備の改修を行った。【富士松東小学校】		屋外放送設備の改修を行った。【衣浦・小垣江・東刈谷小学校】		防火設備の改修工事を行う。【平成・東刈谷小学校】		
体育館のバスケットゴールの耐震点検を行った。【全小学校】		老朽化した体育館メインスピーカーの改修を行った。【亀城・かりがね小学校】		校舎の便所改修を行った。【住吉・朝日小学校】		体育館スピーカーの改修工事を行う。【日高・朝日小学校】				
職員室の空調機の取替を行った。【富士松東小学校】		老朽化したエレベーターの更新及び改修【小高原（更新）・かりがね（改修）・富士松北小学校（改修）】		防犯カメラの更新を行った。【全小学校】		体育館の照明及びエレベーターの改修を行う。【平成小学校】				
成果		学校設備の取替が必要なものは順次更新を行っている。								
課題		設備関係については、大規模改造事業のような全体改修を行う計画をしていないため、必要になった時に必要になった箇所を個々に対応している。そのため、各学校ごとの現状をしっかりと把握することが重要となる。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度			
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費 ①		77,923	93,205	213,616	40,852	合計	213,615,684 円		
	財源	特定財源	54,252	0	0	0	工事請負費	213,615,684 円		
		一般財源	23,671	93,205	213,616	40,852				
	職員人件費 ②		771	986	1,489	1,369				
	総事業費（①+②）		78,694	94,191	215,105	42,221				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
		27年度までの累積事業費		0						
29年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			設備等補修事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	教育総務課		
10	2	1			担当係	施設係				
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	小学校の電気や管などの設備の小規模な補修を行い、学校施設の保全を図る。			主たる内容	小学校の破損や痛みが激しい設備の補修を行う。				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
	対象者	市内小学生及び教員			事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		消防設備の修繕・消火器の取替を行った。【全小学校】プール用水量器の交換を行った。【富士松北小学校】調理室オープンの交換を行った。【小垣江東小学校】		消防設備の修繕・消火器の取替を行った。【全小学校】電気設備、防火扉の修繕及び揚水ポンプの取替を行った。【小垣江小学校】		消防設備の修繕・消火器の取替を行った。【全小学校】ガス調整器等の交換を行った。【小垣江、双葉小学校】屋内外の時計修繕を行った。【小高原、かりがね、朝日小学校】給水設備の取替を行った。【富士松北、富士松東、東刈谷小学校】		消防設備の修繕・消火器の取替を行う。【全小学校】ガス調整器等の交換を行う。【小垣江・双葉小学校】防火シャッターの修繕を行う。【富士松南・富士松東小学校】		
成果		毎年の点検の結果を精査し必要な箇所のみ修繕を行うことができた。								
課題		危険箇所などの補修を目的としているが、緊急でない補修をしっかりと見極める必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		4,149	6,694	6,002	7,000	合計		6,002,420 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費		6,002,420 円	
		一般財源	4,149	6,694	6,002	7,000				
	職員人件費 ②		421	422	783	760				
	総事業費（①+②）		4,570	7,116	6,785	7,760				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0								
29年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			コンピュータ教育事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	2	1					担当係	総務係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	教育用コンピュータ等の維持管理を行い、児童への一貫した情報教育をすることにより、授業の理解度を高め、情報活用能力を育成する。				主たる内容	○消耗品費（トナー・インク・紙等） ○周辺機器の故障時の修繕費 ○コンピュータ教室の保守管理委託料 ○賃借料（パソコン及び周辺機器・教材用ソフト等）		
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	市内小学生及び教員			事業期間	平成10年度～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
コンピュータ教室の活用機器等保守点検		コンピュータ教室の活用機器等保守点検		コンピュータ教室の活用機器等保守点検		コンピュータ教室の活用機器等保守点検			
成果		コンピュータ教室の機器等の管理運営を行った。							
課題		コンピュータ教室の各学級別の利用時間は、学級ごとで差が大きいため、全ての学級で目標の年間10時間を達成したい。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費①		71,473	71,529	72,182	44,254	合計	72,181,717円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	4,942,717円	
		一般財源	71,473	71,529	72,182	44,254	委託料	9,720,000円	
	職員人件費②		912	1,056	548	760	使用料及び賃借料	57,519,000円	
	総事業費（①+②）		72,385	72,585	72,730	45,014			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			空調設備整備事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	教育総務課		
10	2	1					担当係	施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	市内15小学校のすべての教室に空調設備を設置することで、児童の安全と教育環境の向上を図る。			主たる内容	普通教室約391室及び空調設備が無い特別教室65室のうち、大規模改造や改築事業が実施されない校舎にある、普通教室330室、特別教室59室に空調設備を設置する。 ※大規模改造や改築事業を行う校舎は、当該工事に合わせて設置。				
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者	市内小学校の児童及び教員			事業期間	平成27年度～平成30年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
				普通教室及び空調設備の無い特別教室に空調設備を整備するための調査・設計を行った。		空調設備を整備するための調査・設計を引き続き行うとともに、大規模改造工事を行う校舎は、当該工事に合わせて設置する。				
成果		学校と調整しながら、空調設備の設計を行うことができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		設計進捗率（％）			—	—	5.0	100.0	—	
活動指標		工事進捗率（％）			—	—	—	10.0	—	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費①		0	0	6,005	50,996	合計		6,004,800円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料		6,004,800円	
		一般財源	0	0	6,005	50,996				
	職員人件費②		0	0	548	380				
	総事業費（①+②）		0	0	6,553	51,376				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0								
29年度以降の事業費見込		0								

会計名			パソコン管理運用事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	教育総務課		
款	項	目					担当係	総務係		
10	2	1								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	指導用・管理用パソコンの借上げと、その機器維持管理のための運用委託管理を行う。パソコンの積極的な活用による教育指導の向上及びグループウェアの利用により、開かれた学校づくりやより充実した授業づくりを行う。	主たる内容	○消耗品費（トナー・インク等） ○周辺機器の故障時の修繕費 ○指導用パソコンの保守管理委託料 ○賃借料（パソコン及び周辺機器・教材用ソフト等）						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	市内小学生及び教員	事業期間	平成12年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		指導用パソコンの運用 図書システムの更新 （図書システムは図書充実事業へ移行）		指導用パソコンの運用 事務用プリンタの更新		指導用パソコンの運用及び一部入替え 事務用プリンタの運用 デジタル教科書の購入		指導用パソコンの運用 事務用プリンタの運用		
成果		指導用パソコンの管理運用及び一部指導用パソコンの更新をした。また、小学校の教科書改訂に伴いデジタル教科書を購入。								
課題		各教科や総合的な学習の時間の指導での具体的で効果的な掲示物として、写真や資料をカラー印刷にする機会が増えてきた事でパソコン用カラープリンターのインク代が不足している。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費①		79,044	73,832	106,263	73,822	合計	106,262,994 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	3,075,599 円		
		一般財源	79,044	73,832	106,263	73,822	役務費	6,001,907 円		
	職員人件費②		2,455	1,760	470	1,521	委託料	20,463,840 円		
	総事業費（①+②）		81,499	75,592	106,733	75,343	使用料及び賃借料	48,049,268 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
		27年度までの累積事業費		0						
29年度以降の事業費見込		0								
備品購入費		28,672,380 円								

会計名			中学校管理事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	教育総務課		
款	項	目					担当係	総務係		
10	3	1						施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	中学校の円滑な管理運営を行う。		主たる内容	○光熱水費（プロパン・電気・水道・ガス） ○校舎等修繕費 ○電話料 ○点検手数料（空調・プール機器等） ○火災保険料 ○委託料（清掃・保守管理・樹木管理等） ○下水道使用料 ○メール配信ネットワーク使用料					
	位置づけ	関連計画								
			根拠法令							
		対象者	市内中学生及び教員	事業期間	～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費 高所窓ガラス清掃委託、理科薬品処理委託は隔年実施		光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費		光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費 高所窓ガラス清掃委託、理科薬品処理委託は隔年実施		光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費		
成果		光熱水費の節約に努めることができた。								
課題		光熱水費はその年の気温などに左右されやすく経費の増減が流動的で予想が難しい。また、樹木の剪定や高所ガラス清掃などは、要望が多く経費の増額が望まれる。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度			
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		80,638	89,960	88,179	96,082	合計	88,179,118 円		
	財源	特定財源	1,022	1,032	867	830	需用費	59,683,655 円		
		一般財源	79,616	88,928	87,312	95,252	役務費	5,224,236 円		
	職員人件費 ②		3,577	2,957	2,115	3,650	委託料	18,624,567 円		
	総事業費（①+②）		84,215	92,917	90,294	99,732	使用料及び賃借料	4,196,408 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料 学校屋外照明施設利用実費徴収金						
29年度以降の事業費見込		0		資源売却収入						

会計名 一般会計			校舎等改修事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	教育総務課		
10	3	1					担当係	施設係		
P L A N ハ 計 画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	各中学校の老朽化した校舎・体育館等の改修を行い、学校施設の整備及び保全を図る。			主たる内容	中学校の校舎・体育館等を改修する。				
	関連計画									
	位置づけ	根拠法令								
	対象者	市内中学生及び教員			事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B D O ハ 実 施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
				避難所となる体育館に網戸を設置した。【刈谷東中学校】北舎の劣化した屋上防水を改修した。【雁が音中学校】プールサイドの一部に耐熱塗装を行った。【刈谷東中・雁が音中・朝日中学校】		柔剣道場等の天井改修を行った。【刈谷南・富士松・雁が音・依佐美・朝日中学校】体育館等網戸設置を行った。【富士松・雁が音・刈谷南中学校】		体育館床の修繕を行う。【刈谷南中学校】柔剣道場梁の補修を行う【朝日中学校】北舎の外壁改修を行う。【雁が音中学校】		
成果		各中学校の校舎等を計画的に改修することができた。								
課題		校舎改修については、大規模改造事業において改修を行う計画をしているが、大規模改造事業の目安である30年を経過しないうちに改修が必要になる箇所もあり個々に対応を行っている。そのため、各学校ごとの現状をしっかりと把握することが重要となる。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事 業 コ ス ト		単位：千円		25年度 （決算）	26年度 （決算）	27年度 （決算）	28年度 （予算）	27年度 事業費内訳		
	事業費 ①		4,830	39,961	174,642	38,600	合計 174,641,767 円			
	財源	特定財源	0	0	35,182	9,842	委託料 70,200 円			
		一般財源	4,830	39,961	139,460	28,758	工事請負費 174,571,567 円			
	職員人件費 ②		0	704	940	837				
	総事業費（①+②）		4,830	40,665	175,582	39,437				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0		学校施設環境改善交付金（国）						
29年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			校舎等補修事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	教育総務課		
10	3	1					担当係	施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	各中学校の校舎等の小規模な補修を行い、学校施設の保全を図る。				主たる内容	中学校の校舎等の破損や傷みが激しい箇所の補修を行う。			
	位置づけ	関連計画								
			根拠法令							
		対象者	市内中学生及び教員			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		体育館防水修繕を行った。【朝日中学校】 プールろ過装置の修繕を行った。【刈谷南・雁が音中学校】 プール防水膜修繕を行った。【依佐美中学校】 武道場通路屋根修繕を行った。【刈谷東中学校】		プール防水膜の経年劣化によるめくれ等の修繕を行った。【刈谷東中学校】 腐食した多目的ホールの床などの修繕を行った。【富士松中学校】 経年劣化により剥がれた体育館天井の断熱材の修繕を行った。【依佐美中学校】		プールろ過ポンプの修繕を行った。【刈谷南中学校】 屋上漏水箇所等の修繕を行った。【刈谷南・朝日中学校】 体育遊具の修繕を行った。【刈谷南・富士松・雁が音・朝日中学校】		グラウンド雨水排水・乗入部分修繕を行う。【刈谷南中学校】 プールろ過装置の修繕を行う。【雁が音・依佐美中学校】 プール温水シャワー用給湯器修繕を行う。【朝日中学校】		
成果		修繕要望を精査し必要な箇所のみ修繕を行うことができた。								
課題		学校によって校舎の傷み具合が違い、学校ごとの課題も出てくる。各学校の現状をしっかりと把握しなければいけない。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		14,505	7,987	8,432	5,200	合計	8,431,560 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	8,431,560 円		
		一般財源	14,505	7,987	8,432	5,200				
	職員人件費 ②		1,122	422	470	380				
	総事業費（①+②）		15,627	8,409	8,902	5,580				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0								
29年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			設備等補修事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	教育総務課		
10	3	1					担当係	施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	中学校の電気や管などの設備の小規模な補修を行い、学校施設の保全を図る。			主たる内容	中学校の破損や痛みが激しい設備の補修を行う。				
	関連計画									
	位置づけ	根拠法令								
	対象者	市内中学生及び教員			事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		消防設備の修繕・消火器の取替及び体育館の舞台装置・ウィッチ取替修繕を行った。【全中学校】		消防設備の修繕・消火器の取替を行った。【全中学校】		消防設備の修繕を行った。【刈谷東・富士松・雁が音・依佐美中学校】		消防設備の修繕を行う【全中学校】		
浄化槽の修繕を行った。【富士松中・朝日中学校】		給水設備などの修繕を行った。【刈谷東・富士松・雁が音中学校】		ガス調整器等の交換を行った。【刈谷東・富士松中学校】		ガス漏れ警報器等の交換を行う。【刈谷東・富士松中学校】				
防火扉電源修繕を行った。【刈谷東中学校】		防火シャッターの修繕を行った。【富士松・雁が音・依佐美中学校】		給水設備修繕を行った。【依佐美・朝日中学校】		体育館舞台装置の修繕を行う。【刈谷南・富士松・朝日中学校】				
浄化槽送風機の修繕を行った。【依佐美中学校】		毎年点検の結果を精査し必要な箇所のみ修繕を行った。								
成果										
課題		危険箇所などの補修を目的としているが、緊急、緊急でない補修をしっかりと見極める必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費 ①		5,209	7,950	4,962	6,000	合計		4,961,898 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費		4,961,898 円	
		一般財源	5,209	7,950	4,962	6,000				
	職員人件費 ②		1,192	422	470	456				
	総事業費（①+②）		6,401	8,372	5,432	6,456				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
		27年度までの累積事業費		0						
29年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			コンピュータ教育事業				担当部	教育部			
款	項	目					担当課	教育総務課			
10	3	1					担当係	総務係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	学校教育								
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実								
	目的	教育用コンピュータ等の維持管理を行い、生徒への一貫した情報教育をすることにより、授業の理解度を高め、情報活用能力を育成する。				主たる内容	○消耗品費（トナー・インク・紙等） ○周辺機器の故障時の修繕費 ○コンピュータ教室の保守管理委託料 ○賃借料（パソコン及び周辺機器・教材用ソフト等）				
	位置づけ										
	関連計画										
	根拠法令										
	対象者	市内中学生及び教員				事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画			
コンピュータ教室の活用機器等保守点検		コンピュータ教室の活用機器等保守点検		コンピュータ教室の活用機器等保守点検		コンピュータ教室の活用機器等保守点検					
成果		コンピュータ教室の機器等の管理運営を行った。									
課題		コンピュータ教室の各学級別の利用時間は、学級ごとで差が大きいため、全ての学級で目標の年間10時間を達成したい。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度			
指標											
指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費 ①		29,138	29,030	29,375	29,494	合計	29,375,024 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	4,483,328 円			
		一般財源	29,138	29,030	29,375	29,494	委託料	3,888,000 円			
	職員人件費 ②		912	1,056	548	760	使用料及び賃借料	21,003,696 円			
	総事業費（①+②）		30,050	30,086	29,923	30,254					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称					
27年度までの累積事業費		0									
29年度以降の事業費見込		0									

会計名			パソコン管理運用事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	教育総務課		
款	項	目					担当係	総務係		
10	3	1								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	指導用・管理用パソコンの借上げと、その機器維持管理のための運用委託管理を行う。パソコンの積極的な活用による教育指導の向上及びグループウェアの利用により、開かれた学校づくりやより充実した授業づくりを行う。	主たる内容	○消耗品費（トナー・インク等） ○周辺機器の故障時の修繕費 ○指導用パソコンの保守管理委託料 ○賃借料（パソコン及び周辺機器・教材用ソフト等）						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
	対象者	市内中学生及び教員	事業期間	平成13年度～						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		指導用パソコンの運用		指導用パソコンの運用 事務用プリンタの更新		指導用パソコンの運用及び一部更新 事務用プリンタの運用		指導用パソコンの運用 事務用プリンタの運用 校内LAN機器の更新 デジタル教科書の購入		
成果		指導用パソコンの管理運用及び一部指導用パソコンの更新を行った。								
課題		各教科や総合的な学習の時間の指導での具体的で効果的な掲示物として、写真や資料をカラー印刷にする機会が増えてきた事でパソコン用カラープリンターのインク代が不足している。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費①		38,451	40,525	40,723	46,549	合計	40,723,111円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	1,783,362円		
		一般財源	38,451	40,525	40,723	46,549	役務費	2,495,533円		
	職員人件費②		1,403	1,760	470	1,521	委託料	8,756,424円		
	総事業費（①+②）		39,854	42,285	41,193	48,070	使用料及び賃借料	27,687,792円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0								
29年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			設備等改修事業				担当部	教育部
款	項	目					担当課	教育総務課
10	3	1					担当係	施設係
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化					
		基本施策	学校教育					
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実					
	目的	中学校の電気や管などの設備の改修を行い、教育環境の保全を図る。		主たる内容	中学校の老朽化により破損や傷みが激しい設備の改修を行う。			
	関連計画							
	位置づけ	根拠法令						
	対象者	市内中学生及び教員		事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画
		屋外放送設備の改修を行った。【雁が音中学校】インターホン改修を行った。【雁が音・依佐美中学校】エレベーター改修を行った。【刈谷南中学校】体育館バスケットゴールの耐震点検を行った。【全中学校】		屋外放送設備の改修を行った。【富士松中学校】体育館放送設備及び故障が多発する親子時計の改修を行った。【雁が音中学校】老朽化した火災報知機の改修を行った。【雁が音・朝日中学校】		プール給水管改修を行った。【雁が音中学校】老朽化した体育館放送設備の改修を行った。【富士松・依佐美中学校】調理室ガス器具取替を行った。【朝日中学校】防犯カメラの更新を行った。【全中学校】		職員室空調設備改修及び非常放送設備の更新を行う。【依佐美中学校】多目的室に除湿機を設置する。【朝日中学校】
成果		各中学校の設備等を計画的に改修することができた。						
課題		設備改修については、大規模改造事業において改修を行う計画をしている部分もあるが、大規模改造事業の目安である30年が経過しないうちに改修が必要になる箇所もあり、個々に対応を行っている。そのため、各学校ごとの現状を把握することが重要となる。						
指標名称（単位）			実績値			目標値		
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
指標								
指標								
他市との比較検証								
C 事業 コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳
	事業費 ①		22,407	46,486	17,452	13,000	合計 17,451,612 円 工事請負費 17,451,612 円	
	財源	特定財源	12,683	0	0	0		
		一般財源	9,724	46,486	17,452	13,000		
	職員人件費 ②		1,262	704	862	760		
	総事業費（①+②）		23,669	47,190	18,314	13,760		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称		
27年度までの累積事業費		0						
29年度以降の事業費見込		0						

会計名		校舎等改修事業				担当部	教育部	
一般会計						担当課	教育総務課	
款	項					目	担当係	施設係
10	2	1						
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化					
		基本施策	学校教育					
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実					
	目的	小学校の老朽化した校舎、体育館等の改修を行い、学校施設の整備及び保全を図る。		主たる内容	小学校の校舎・体育館等を改修する。			
	位置づけ	関連計画						
		根拠法令						
		対象者	市内小学生及び教員		事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他					
	B 事業 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画
		小学校の老朽化した校舎・体育館の外壁改修を行った。【双葉（校舎）・小垣江東小学校（体育館）】音楽室の窓枠の改修を行った。【小垣江小学校】		・小学校の老朽化した校舎・体育館の外壁改修を行った。【かりがね（校舎・体育館）・富士松南小学校（体育館）】南舎の屋上防水の改修を行った。【住吉小学校】		多目的ホールの天井改修を行った。【平成小学校】北舎の屋上防水の改修を行った。【住吉小学校】校舎等の外壁塗装改修を行った。【平成・富士松東・小垣江・小垣江東小学校】		体育館等の床修繕を行う。【衣浦・かりがね・富士松南・小垣江東・双葉・朝日・東刈谷小学校】体育館に網戸を設置する。【亀城・小高原・日高・住吉・かりがね小学校】
成果		老朽化した校舎等の機能回復をすることができた。						
課題		校舎改修については、大規模改造事業において改修を行う計画をしているが、大規模改造事業の目安である30年を経過しないうちに改修が必要になる箇所もあり個々に改修を行っている。そのため、各学校ごとの現状をしっかりと把握することが重要となる。						
指標名称（単位）			実績値			目標値		
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
指標								
指標								
他市との比較検証								
C 事業 コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳
	事業費 ①		39,354	109,370	191,626	30,800	合計	191,626,213 円
	財源	特定財源	8,201	9,775	28,199	0	需用費	3,784,320 円
		一般財源	31,153	99,595	163,427	30,800	工事請負費	187,841,893 円
	職員人件費 ②		561	986	1,959	1,293		
	総事業費（①+②）		39,915	110,356	193,585	32,093		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称		
27年度までの累積事業費		0		学校施設環境改善交付金（国）				
29年度以降の事業費見込		0						

会計名 一般会計			屋外施設整備事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	教育総務課		
10	3	1					担当係	施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	中学校のグラウンド、駐車場などの屋外施設の改修を行い、教育環境の保全を図る。			主たる内容	中学校のグラウンド、駐車場等のうち老朽化により破損や痛みが激しい箇所の更新を行う。				
	関連計画									
	位置づけ	根拠法令								
	対象者	市内中学生及び教員			事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		クラブハウス階段の改修を行った。【刈谷東中学校】 テニスコートの改修及び弓道場防矢ネットの増設を行った。【富士松中学校】 防球ネット補修及び植栽の剪定を行った。【雁が音中学校】		土の流出により凸凹ができたテニスコートの改修を行った。【雁が音中学校】 老朽化した石灰倉庫の取替を行った。【依佐美中学校】 老朽化した部活動用倉庫の取替を行った。【朝日中学校】		クラブハウス及びグラウンドの改修を行った。【刈谷南中学校】 グラウンドの改修を行った。【雁が音中学校】 老朽化した給水管更新を行った。【富士松中学校】		通路改修工事及びテニスコート防球ネット改を行う。【雁が音中学校】 グラウンド改修を行う。【朝日中学校】 倉庫の更新を行う。【刈谷南・刈谷東・雁が音・依佐美中学校】		
成果		学校からの要望や現地調査を重ね危険箇所について整備を進めている。								
課題		屋外施設関係については、大規模改造事業のような全体改修を行う計画を策定していないため、必要なときに必要な箇所を個々に対応している。そのため、学校ごとの現状をしっかりと把握することが重要となる。								
指標		指標名称（単位）				実績値		目標値		
					25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
他市との比較検証										
C 事業 コスト	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費 ①		11,239	5,054	67,152	40,000	合計	67,152,240 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	2,818,800 円		
		一般財源	11,239	5,054	67,152	40,000	工事請負費	64,333,440 円		
	職員人件費 ②		561	352	627	380				
	総事業費（①+②）		11,800	5,406	67,779	40,380				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0								
29年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			空調設備整備事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	教育総務課		
10	3	1					担当係	施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	市内6中学校のすべての教室に空調設備を設置することで、生徒の安全と教育環境の向上を図る。			主たる内容	普通教室約161室及び空調設備が無い特別教室65室のうち、大規模改造や改築事業が実施されない校舎にある、普通教室128室、特別教室59室に空調設備を設置する。 ※大規模改造や改築事業を行う校舎は、当該工事に合わせて設置。				
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者	市内小学校の児童及び教員			事業期間	平成27年度～平成29年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
				普通教室及び空調設備の無い特別教室に空調設備を整備するための調査・設計を行った。		空調設備を整備するための調査・設計を引き続き行うとともに、大規模改造工事を行う校舎は、当該工事に合わせて設置する。				
成果		学校と調整しながら、空調設備の設計を行うことができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		設計進捗率（％）			—	—	5.0	100.0	—	
活動指標		工事進捗率（％）			—	—	—	10.0	—	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費①		0	0	4,957	20,583	合計		4,957,200円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料		4,957,200円	
		一般財源	0	0	4,957	20,583				
	職員人件費②		0	0	548	380				
	総事業費（①+②）		0	0	5,505	20,963				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0								
29年度以降の事業費見込		0								

会計名			特別支援学校建設事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	教育総務課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	7	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	肢体不自由に特化した特別支援学校を整備することにより、現在の長時間通学の負担軽減を図るとともに、小中学校の特別支援教育を支援するセンター的機能を構築し、障害種別を問わず、地域全体の特別支援教育の充実を図る。	主たる内容	小垣江東小学校北舎を改修及び増築し、最大70人が通うことができる肢体不自由に特化した特別支援学校を整備する。					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	特別支援学校施設整備指針						
		対象者	衣浦定住自立圏域の肢体不自由児・者	事業期間	平成27年度～平成29年度				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		—		—		特別支援学校建設工事の前倒し工事に着手した。		特別支援学校建設工事を行う。	
成果		特別支援学校の本体工事に先駆け、植栽移設工事を前倒して着手できた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		工事進捗率（％）			—	—	5.0	41.0	100.0
指標									
他市との比較検証		・市立の特別支援学校を開設している、瀬戸市や豊橋市の例を参考とした。							
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	0	576,607	合計 0円		
	財源	特定財源	0	0	0	0			
		一般財源	0	0	0	576,607			
	職員人件費 ②		0	0	313	2,966			
	総事業費（①+②）		0	0	313	579,573			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							